

花巻農業協同組合 第15回通常総代会



組合員表彰

地域農業の振興と農業協同組合の発展に尽くし、その功績が極めて顕著であって、他の模範とするに足ると認められた個人、団体を表彰しました。

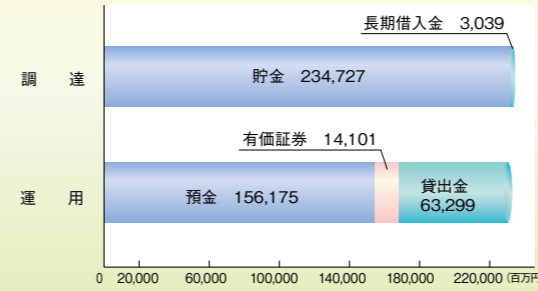
- 宮野目東部管農生産組合(花巻地域)
組合長 葛巻 正忠
代表取締役 大和 一信
地主の手の届かない地域の転作田を借り、集積して「アントーン」を栽培し、自給飼料率を向上。堆肥は切り返すことによって良質なものを生産され、ほとんどは自家消費しているが、一部地域の転作物園場にも供給しておられます。
- 有アプリファイン(花巻地域)
組合長 佐藤 十九三
組織内の担い手の位置づけを明確にし、主たる農作業の受託を担い手へ集約し、機械の有効利用、生産経費の軽減などを図ると共に、農家労働力の軽減と地域農地の保全を図られました。
- 西八重畑農業生産組合(花巻地域)
農業従事者の高齢化に伴い農作業が困難な農家が発生しており、地域の受け皿組織として低利用水田の解消を図るとともに、既存機械の有効利用、農家所得の向上に寄与されました。

- 小原 洋一(花巻地域)
東和町でいち早くリンゴのわい化栽培に取り組み、果樹を営農の柱として経営の安定化を図るとともに、広域合併当時の花巻農協果樹部会長を歴任。組織のリーダーとして統率力を発揮するなど、名実ともに花巻の果樹振興の第一人者としての一翼を担いました。
- 農事組合法人 一子中央管農組合(北上地域)
代表理事 小田島 徳幸
基盤整備にいち早く組織化を図り、集落営農の先進的存在であり、平成22年度「東北農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰東北農政局長賞」を受賞。大豆栽培については、県の平均収量の2倍以上の反収となっており、平成22年度「全国豆類経営改善共励会農林水産大臣賞」を受賞。
- 有馬農産(西和賀地域)
代表 有馬 富博
農協関係では西和賀地域いちご部会部会長、西和賀地域受託者部会部会長、西和賀地域青色申告会幹事を務め、西和賀町では農政推進協議会委員、西和賀町農政推進委員、西和

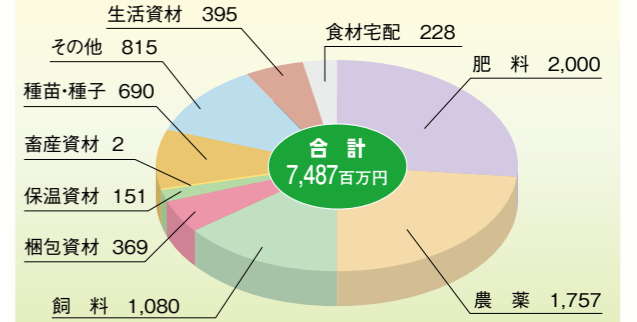
- 農事組合法人 宮守川上流生産組合(遠野地域)
代表理事組合長 多田 誠一
担い手の育成として、各地より研修生を受け入れ、そのまま定住する担い手が誕生。農村環境の保全と多面的機能を維持するため、地域と一体となって取り組み、不利な地域においても農業が継続的に行われるよう、地域独自の新たなビジョンを立ち上げ、地域農業の先導的役割を果たされました。
- 土淵地区管農組合(遠野地域)
組合長 安部 重幸
良品質、高反収、低コスト生産に取り組み、組合員の農業所得向上に寄与。基盤整備が整ったことから、担い手(営農組合)への委託及び利用権の設定に対する期待が高まっています。

平成25年度 主要事業計画

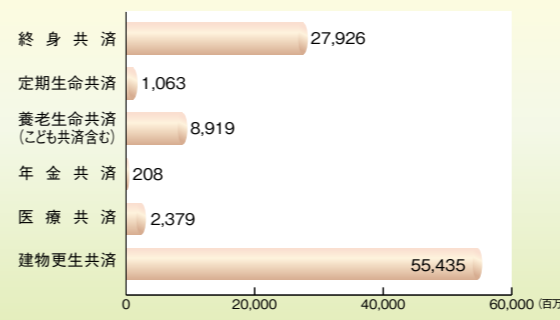
◆信用事業 調達 237,766 百万円
運用 233,576 百万円



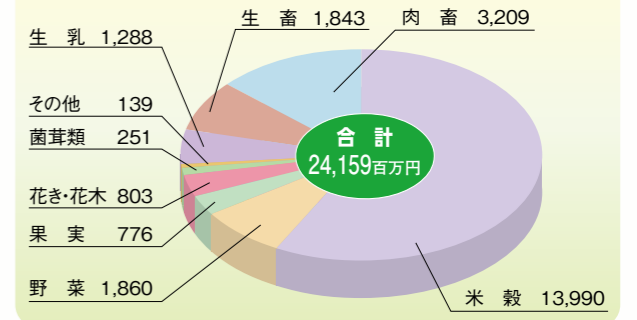
◆購買事業 合計 7,487 百万円



◆共済事業 95,930 百万円



◆販売事業 合計 24,159 百万円



平成25年度事業運営方針

●営農事業

新たに策定した「第2次営農振興計画」を基軸とし、全農家組合が作成に取り組み「集落(地域)営農ビジョン」による持続可能な地域農業の構築や、「低利用水田再生」による農産物の生産・販売量の拡大と「安全・安心」な農産物の生産拡大を図り、農家所得向上に取り組みます。TPP交渉参加問題には「断固反対」の姿勢を続けつつ、日本が掲げる「聖域(例外品目)」の獲得に向けて、また「産地の国際競争力」を高めるための生産基盤・流通基盤の強化拡大に取り組みます。

●信用事業

組合員等地域住民のニーズを的確に捉えた事業展開により、必要とされるサービスを提供し、顧客満足度を高める取り組みに重点を置くことで、将来にわたり農業および生活メインバンク機能を発揮していきます。訪問活動の強化で各種ローンと安定した貯金財源の確保に努めます。

●生活福祉事業

「食と農」を基軸に地域に根ざした豊かで暮らしやすい地域社会の実現をめざし、女性・元気高齢者・子どもが集う場の提供と活動を支援します。また、健康で生きがいのある暮らしづくりに向けた健康増進活動と高齢者福祉介護事業等、組合員のニーズに応じた「くらしの活動」を展開します。

●共済事業

すべての組合員・利用者に、すべての生活保障・財産形成ニーズが生涯にわたって万全に保障されるために、JA共済の総合保障性(ひと・いえ・くるま)を発揮するための活動に取り組みます。次世代・若年層等のニューパートナーとの取引深化を図り、より地域に密着したJAらしい事業活動の展開に取り組みます。

